

日本ペインクリニック学会 第3回関西支部学術集会
プログラム・抄録集 正誤表

プログラム・抄録集に訂正箇所がございます。
お詫び申し上げますとともにここに訂正させていただきます。

【訂正箇所】

P. 26 特別企画 I : 演題 3

誤) 【演者】 清水 覚司、岩下 成人、石原 真理子、河島 愛莉奈、西脇 侑子
赤澤 舞衣、岩本 貴志、中西 美保

正) 【演者】 清水 覚司、岩下 成人、石原 真理子、河島 愛莉奈、西脇 侑子
赤澤 舞衣、岩本 貴志、中西 美保、松本 富吉、福井 聖、北川 裕利

P. 33 一般演題 I - 4

誤) 【演者】 関西医科大学総合医療センター
田原慎治

正) 【演者】 1) 関西医科大学総合医療センター 2) 関西医科大学附属病院
田原慎治¹⁾、緒方洪輔^{1, 2)}、増澤宗洋¹⁾、中本達夫^{1, 2)}、上林卓彦¹⁾

演題3

「インターベンショナル治療を中心とした集学的痛み治療の研修」

滋賀医科大学医学部附属病院 麻酔科・ペインクリニック科

清水 覚司、岩下 成人、石原 真理子、河島 愛莉奈、西脇 侑子

赤澤 舞衣、岩本 貴志、中西 美保、松本 富吉、福井 聖、北川 裕利

滋賀医科大学ペインクリニック科では、同医学部附属病院の他診療科や近隣開業医と緊密に連携を図り、痛みの治癒を目指したインターベンショナル治療を積極的に行なっている。特に、腰部脊柱管狭窄症や帯状疱疹後神経痛に対するX線透視下神経ブロックやパルス高周波法、末梢血行障害に対する腰部交感神経節熱凝固法などの症例が非常に豊富で、多くのベテラン指導医の丁寧な指導の下で確かな技術を身につけることができる。また、末梢神経を標的としたエコーガイド下パルス高周波法のような先進的治療にも取り組んでいる。一方、初診時には、看護師の協力を得ながら、患者さんの精神心理状態や社会生活の状態を詳細に把握し、痛みの背景にも着目した診療を提供している。このように、インターベンショナル治療に加え、東洋医学を取り入れた幅広い薬物療法、理学療法、心理療法を駆使しながら、個々の患者さんに合わせた集学的痛み治療の研修を受けている。

4 完全覚醒下手外科再建術で選択的末梢神経ブロックが有用であった 1 症例

1) 関西医科大学総合医療センター

2) 関西医科大学附属病院

田原慎治¹⁾、緒方洪輔^{1, 2)}、増澤宗洋¹⁾、中本達夫^{1, 2)}、上林卓彦¹⁾

手外科領域における麻酔法には全身麻酔、腕神経叢ブロック、浸潤麻酔などいくつかあるが、手術の侵襲や方法により鎮痛法を変更する場合がある。全身麻酔では局所麻酔を用いず手術ができるが、腱手術など手の機能を向上させる目的の手術では術者の経験によるところがあり、全身麻酔では術後まで機能評価が出来ない。しかし、浸潤麻酔では局所麻酔の必要量が最も多くなり広範囲の手術となると局所麻酔中毒も危惧される。低容濃度の腕神経叢ブロックで行なう方法もあるが運動神経への影響は避けられず、正確性に欠ける上、運動神経が完全に麻痺してしまうと術後の機能評価となってしまう。運動神経の分岐部より末梢で行う選択的知覚神経ブロックでは、局所麻酔の必要量を減らしつつ、術中に再建した腱の緊張の評価ができる。今回、選択的知覚神経ブロックで行った完全覚醒下手外科手術を経験した。

45 歳男性、外傷後の痙性拘縮手麻痺に対して、浅指屈筋と深指屈筋（第 3 ～ 5 指）の変換と尺側手根屈筋を総指伸筋へ腱移植術が予定され、創部は前腕遠位から中部、手掌、第 3 指の背側が予定された。筋皮神経、内側前腕皮神経、橈骨神経浅枝、正中神経（前腕遠位部）、尺骨神経（本幹と背側枝）にそれぞれ 0.5% レボブピバカイン 2mL 投与を行なった。切開前にアドレナリン入りキシロカインを 6mL 程度創部皮下に局所麻酔を依頼した。理学療法士による評価では小指の屈曲がやや減弱しているもののほぼ筋力低下は認めなかった。術中、運動機能評価を行うことができ、疼痛など訴えなく局所麻酔の追加投与もなく経過した。術翌日には運動、感覚神経ともに回復し、運動機能は良好に再建されていた。本症例では広範囲の創部に対して術中から運動機能評価を行うことができ、より良い運動機能の再建が可能であったと考えられた。